



# ドジャース 2025

かわだステーション

2025年  
12月号  
荻窪接骨院  
荻窪治療室

Dodgers™

2024年、2025年と  
ワールドシリーズを連覇した  
ロサンゼルス・ドジャース。  
その中心に3人の日本人選手  
が居ました。佐々木朗希、山  
本由伸、そして大谷

翔平です。ワールド  
シリーズで日本人  
選手が3人も活躍  
するとは本当に素  
晴らしいことです。  
今回はドジャース  
の1年間を振り返  
り、3人の日本人選  
手の活躍を見ていきま  
す。

開幕

2025年のシーズンは3  
月18日、東京ドームでのシカ  
ゴ・カブスとの対戦から始ま  
りました。ドジャースの山本  
由伸とカブスの今永昇太が先  
発し、MLBで初めて日本人  
選手同士による開幕戦先発

対決となりました。この試合  
は4対1でドジャースの勝利  
となり、山本由伸が勝利投手  
となっています。チームは開  
幕戦から勝利を重ね、4月2  
日に大谷翔平のサヨナラ本墨  
打で勝利すると、前年のワー  
ルドシリーズを制した世界一  
球団としては史上最長の開幕  
8連勝となりました。その後  
レギュラーシーズンでは93  
勝69敗で地区優勝し、ポスト  
シーズンでも勝ち続け、ワー  
ルドシリーズでブルージェイ  
ズとの接戦を制し、奇跡のワ  
ールドシリーズ連覇を果たし  
たのです。

佐々木朗希

2025年1月17日

山本由伸のレギュラーシ  
ーズンの成績は、30登板12勝8  
敗、防御率2.49、奪三振は驚異  
の201個です。MLB2年目の  
山本は初の二桁勝利を上げ、  
大躍進を遂げました。しかし  
本日の活躍はポストシーズン  
に入つてからです。ワールド  
シリーズ第2戦に先発登板し  
た山本は、初回2回は抑えま  
したが、3回には1対1の同  
点に追いつかれました。しか  
し、ここから山本が歴史的な  
快投を見せることになります。  
5番バーチョを一塁ゴロに打  
ち取ると、4回から9回まで  
6イニング連続

2025年1月17日、ロサ  
ンゼルス・ドジャースとマイ  
ナー契約を結んだことを自身  
のInstagramで発表し、その後  
3月18日にメジャー契約を  
結び、開幕ロースター入りし  
ました。ロースターとは、チ  
ームの公式戦に出場できる資  
格を持つ選手登録枠のことです。  
3月19日、開幕第2戦に先発登  
板し、メジャー初登板を果た  
しました。しかし制球に苦し  
み、3回被安打1、3奪三振  
5四球1失点で降板していま  
す。その後右肩の不調を訴え、  
インピングメント症候群を発  
症していたことが判明し、5  
月13日に故障者リスト入り  
しました。6月には実戦復帰  
の目処が立たないことから、  
ロバーツ監督が同年シーズン  
を全休させる可能性を示唆し、  
6月20日に6日間の故障者  
リストに移行されました。9  
月下旬にリリーフピッチャー  
として復帰し、ポストシーズン  
では抑えとして新境地を見  
せ、9試合で3セーブ、防御  
率0.84という活躍を見せまし  
た。ロバーツ監督は「ロウキ  
はシーズン序盤でとてもタフ  
な時期を過ごした。でも、健  
康な状態で戻ってきて、とて  
も大きな貢献をしてくれた。  
ロウキは今年大きな成長を成

2025年1月17日、ロサ  
ンゼルス・ドジャースとマイ  
ナー契約を結んだことを自身  
のInstagramで発表し、その後  
3月18日にメジャー契約を  
結び、開幕ロースター入りし  
ました。ロースターとは、チ  
ームの公式戦に出場できる資  
格を持つ選手登録枠のことです。  
3月19日、開幕第2戦に先発登  
板し、メジャー初登板を果た  
しました。しかし制球に苦し  
み、3回被安打1、3奪三振  
5四球1失点で降板していま  
す。その後右肩の不調を訴え、  
インピングメント症候群を発  
症していたことが判明し、5  
月13日に故障者リスト入り  
しました。6月には実戦復帰  
の目処が立たないことから、  
ロバーツ監督が同年シーズン  
を全休させる可能性を示唆し、  
6月20日に6日間の故障者  
リストに移行されました。9  
月下旬にリリーフピッチャー  
として復帰し、ポストシーズン  
では抑えとして新境地を見  
せ、9試合で3セーブ、防御  
率0.84という活躍を見せまし  
た。ロバーツ監督は「ロウキ  
はシーズン序盤でとてもタフ  
な時期を過ごした。でも、健  
康な状態で戻ってきて、とて  
も大きな貢献をしてくれた。  
ロウキは今年大きな成長を成



3月19日  
の開幕第2戦に先発登  
板し、メジャー初登板を果た  
しました。しかし制球に苦し  
み、3回被安打1、3奪三振  
5四球1失点で降板していま  
す。その後右肩の不調を訴え、  
インピングメント症候群を発  
症していたことが判明し、5  
月13日に故障者リスト入り  
しました。6月には実戦復帰  
の目処が立たないことから、  
ロバーツ監督が同年シーズン  
を全休させる可能性を示唆し、  
6月20日に6日間の故障者  
リストに移行されました。9  
月下旬にリリーフピッチャー  
として復帰し、ポストシーズン  
では抑えとして新境地を見  
せ、9試合で3セーブ、防御  
率0.84という活躍を見せまし  
た。ロバーツ監督は「ロウキ  
はシーズン序盤でとてもタフ  
な時期を過ごした。でも、健  
康な状態で戻ってきて、とて  
も大きな貢献をしてくれた。  
ロウキは今年大きな成長を成



山本由伸

山本由伸のレギュラーシ  
ーズンの成績は、30登板12勝8  
敗、防御率2.49、奪三振は驚異  
の201個です。MLB2年目の  
山本は初の二桁勝利を上げ、  
大躍進を遂げました。しかし  
本日の活躍はポストシーズン  
に入つてからです。ワールド  
シリーズ第2戦に先発登板し  
た山本は、初回2回は抑えま  
したが、3回には1対1の同  
点に追いつかれました。しか  
し、ここから山本が歴史的な  
快投を見せることになります。  
5番バーチョを一塁ゴロに打  
ち取ると、4回から9回まで  
6イニング連続

し遂げた」と語り、前半の苦  
しい時期を乗り越え、終盤で  
見せた働きを称賛しています。  
「佐々木朗希が復帰して本当  
に良かった!」と日本中の誰  
もが思つたことでしょう。



ジャース、ブルージェイズともに1勝1敗で迎えたワールドシリーズ第3戦は、延長18回に及ぶ熱戦となりました。ジャースは大谷翔平の4長打の活躍で5対5の同点に追いつき、さらに佐々木朗希の好リリーフもあって試合は延長戦に突入。両チームとともに決死の継投でピンチをしのぎ続け、延長18回ついにフレディー・フリーマンがサヨナラホームランで試合を決めました。延長18回ともなると投手が底をつき、第2戦で完投勝利を上げた山本がブルペンでピッチングを始めました。それを見たフリーマンは「山本には絶対に投げさせない。俺がこの試合を終わらせる」と思つて打席に立つたと後に語っています。ブルージェイズが3勝2敗と王手をかけて迎えたワールドシリーズ第6戦は、山本由伸が粘りの好投でジャースを勝利に導きました。山本は走者を背負いながらも要所を締め、6回1失点でポストシーズン4勝目をあげています。そして3勝3敗で迎えた第7戦、この試合に

の大黒柱となつた山本はワールドシリーズMVPを受賞しました。

## 大谷翔平

今シーズン二刀流を復活させた大谷翔平。レギュラーシーズンの成績は、投手としては14試合に登板し、1勝1敗、防御率2.87、奪三振62で、十分すぎる成績です。

打者としては打率2割8158試合に出場し、





大谷翔平

ンで大谷は「ポストシーズン史上初めて先頭打者ホームランを放った投手」となったのです。4回と7回にもホームランを放ち、この日の大谷は6回2安打無失点、10奪三振、3本塁打となり、同一試合で10個の三振を奪い、3本のホームランを打つたのは史上初の快挙となりました。そしてワールドシリーズ第3戦は記録づくりの試合となりました。先ず延長18回はイニング数



として、ワールドシリーズ史上最長タイ記録であり、ボストン・シーザンで見ても史上最长タイ記録となりました。そしてこの試合で「1番指名打者」でスタメン出場した大谷が最初の4打席で2本塁打、2二塁打をマークし、ワールドシリーズでの1試合4長打は史上2人目の快挙であり、その後4打席連続の申告敬遠は史上最多となつたのです。今年も数々の記録を塗り替えた大谷翔平は3年連続4回目の MVPを受賞し、世界一のスターとなりました。

**患者様の声を  
お聞かせください**

下記QRコードを読  
み込んで、治療を受け  
た感想などをお聞か  
せください。今後のよ  
り良い治療に活かし  
ていきます。



参考文献 J-sports ニュース & ニュース / MLB App / 時事ニュース / ニュース / ヤフーニュース